

# 令和4年度 後期学校評価アンケートのまとめ（生徒・保護者）

回答 a そう思う b だいたいそう思う c あまりそう思わない d そう思わない ( ) 内は前期の結果

## 学校生活は楽しい

(生徒) a 58% (61%)  
b 32% (32%)  
c 8% (5%) d 2% (2%)



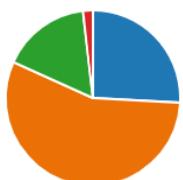
## 子どもは安心して楽しく登校している

(保護者) a 45% (53%)  
b 44% (41%)  
c 7% (5%) d 4% (1%)

9割の生徒が「学校生活は楽しい」と回答しており、概ねいきいきと学校生活を送っているようです。否定的な回答の生徒・保護者がいることを受けとめ、一人一人を大切にできる学校をめざします。

## 学校での学習はよくわかる

(生徒) a 26% (27%)  
b 56% (60%)  
c 16% (10%) d 2% (2%)



## 子どもは学習内容がよくわかっている

(保護者) a 17% (19%)  
b 52% (57%)  
c 25% (20%) d 6% (2%)

学習面における肯定的な回答は8割を超えていましたが、「そう思う」と答えた生徒は3割未満でした。また、3割の保護者が、お子さまの学習に不安を持っておられること等、前期と同様、厳しい結果となりました。「夢や目標をもって学習している」に、否定的な回答をしている生徒が、未だ3割を超えている現状を含め、学習内容の定着とキャリア教育の充実を、教育活動の最重要課題として取り上げ、具体的な方策を、学校全体で検討していきます。

## 将来の夢や目標をもって学習している

(生徒) a 23% (26%)  
b 42% (38%)  
c 27% (25%) d 8% (11%)



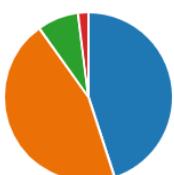
## 子どもは将来の夢や目標をもって学習している

(保護者) a 19% (20%)  
b 46% (48%)  
c 31% (29%) d 4% (3%)

「授業におけるICT活用」を、教科や道徳、総合等で進めていますが、3割の保護者が否定的な回答をしておられます。教室と家庭を結ぶリモート学習の課題を反映していると思われます。

## GIGA端末等のICT機器を学習等に活用している

(生徒) a 45% (45%)  
b 45% (46%)  
c 8% (7%) d 2% (2%)



## 子どもはICT機器を学習や活動に活用している

(保護者) a 15% (21%)  
b 55% (49%)  
c 23% (25%) d 7% (4%)

家庭での自主的な学習について、生徒・保護者ともに、否定的な回答が4割ほどあり、家庭学習習慣に課題のあることが伺えます。自ら学習する力は、中学生時だけでなく、状況に応じて自らをアップデートしていく力として、将来にわたって必要になる力です。学習面での自立を図っていきます。

## 家庭で自主的に学習している

(生徒) a 20% (19%)  
b 39% (43%)  
c 32% (31%) d 8% (8%)



## 子どもは家庭で自主的に学習している

(保護者) a 20% (17%)  
b 37% (40%)  
c 28% (33%) d 15% (10%)

大半の生徒が「決まりやマナーを守っている」と回答しています。学校全体が学習やその他の活動に、落ち着いて取り組める環境が整いつつあります。

## 学校のきまりやルールを守って生活している

(生徒) a 59% (56%)  
b 38% (40%)  
c 2% (3%) d 1% (1%)



## 子どもは学校のきまりやルールを守って生活している

(保護者) a 45% (50%)  
b 49% (42%)  
c 3% (6%) d 4% (2%)

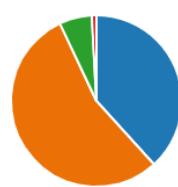
### 進んで挨拶をしている

- (生徒) a 43% (46%)  
b 45% (42%)  
c 10% (10%) d 1% (2%)



### 他の人を思いやった言動ができる

- (生徒) a 38% (33%)  
b 55% (59%)  
c 6% (8%) d 1% (1%)



### 悩みや困りごとを相談できる

- (生徒) a 30% (36%)  
b 45% (40%)  
c 18% (17%) d 6% (7%)



### 子どもは進んで挨拶している

- (保護者) a 30% (26%)  
b 47% (54%)  
c 20% (18%) d 2% (1%)

### 子どもは他の人を思いやった言動ができる

- (保護者) a 45% (47%)  
b 49% (48%)  
c 4% (4%) d 2% (1%)

### 子どもは悩みや困りごとを相談できる

- (保護者) a 8% (9%)  
b 49% (52%)  
c 33% (32%) d 10% (7%)

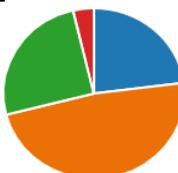
挨拶に関する回答は、概ね良好な結果ですが、保護者の否定的な回答が、前期より少し増えました。「挨拶」は社会の潤滑油と言われます。挨拶の効用と共に考え、行動に繋げたいと思います。

他者に思いやりのある言動ができるについて、肯定的回答が多いものの、否定的回答があることを踏まえ、日々の学校生活を通して、人権を大切にする態度を育てていきたいと思います。

「悩みや困りごとを相談できるか」について「そう思う」と回答した生徒の割合が、前期よりやや低いです。出来るだけ多くの目で子どもを見守り、悩みを気軽に相談できる体制を整えていきます。

### 授業中に自分の考えを広げたり深めたりできる

- (生徒) a 23% (24%)  
b 48% (48%)  
c 25% (23%) d 4% (5%)



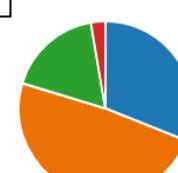
### 子どもは授業中に自分の考えを広げたり深めたりできる

- (保護者) a 16% (15%)  
b 50% (57%)  
c 28% (24%) d 6% (4%)

コロナ禍における学習形態の制限が、少しずつ緩和され、協働学習を取り入れる機会が増えています。他者の考えを知り、新たな見方・考え方につれて、自らの学びを深めていけるよう、引き続き工夫していきます。

### 自分の考えを持ち、話したり書いたりしている

- (生徒) a 31% (33%)  
b 49% (49%)  
c 18% (15%) d 3% (3%)



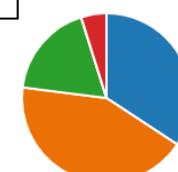
### 子どもは自分の考えを持ち、話したり書いたりしている

- (保護者) a 12% (11%)  
b 57% (55%)  
c 27% (29%) d 4% (5%)

教科・道徳・総合的な学習等、さまざまな場面で、考えを書いたり、話したりする活動を取り入れています。成果物を交流する、保護者の方に見ていただく等、表現の喜びを体験できるよう工夫したいと思います。

### 食事や休養に気をつけて生活している

- (生徒) a 34% (36%)  
b 43% (45%)  
c 18% (15%) d 5% (3%)



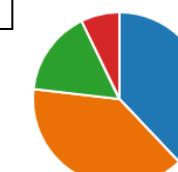
### 子どもは食事や休養に気をつけて生活している

- (保護者) a 13% (16%)  
b 51% (52%)  
c 32% (27%) d 4% (5%)

食育掲示板・食育だよりを中心に、食事や休養に関する情報を届け、必要に応じて話をしています。いざという時、力を発揮できる心身の健康を作るために、今後も食育を継続していきます。

### 配布プリントをしっかり渡し、学校のことを家で話している

- (生徒) a 38% (40%)  
b 39% (37%)  
c 16% (17%) d 7% (5%)



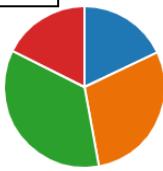
### 学校からの情報提供は、よく行われている

- (保護者) a 23% (21%)  
b 61% (60%)  
c 13% (16%) d 4% (3%)

情報提供について、概ね肯定的な回答であるものの、十分とは言えません。保護者の方々が求める情報を察知し、配布プリント・配信メール・学校ホームページ等を活用し、発信できるようにしていきます。

小学校と中学校と一緒にいろいろな取組を進めているのを知っている

(生徒) a 18% b 29%  
c 35% d 18%



小中が連携して教育活動に取り組めている

(保護者) a 7% (9%)  
b 58% (54%)  
c 26% (29%) d 8% (8%)

小中連携について、生徒の認知度は5割未満、保護者の肯定的答は6割5分という結果でした。小学校と中学校間の協力は必要不可欠であり、さまざまな企画・取組を実践していく方針です。その実践を、保護者や地域に向けて伝えていきたいと思います。

保護者の皆様へ

令和4年度後期学校評価保護者アンケートについて、多くの回答をいただき、ありがとうございました。

2学期以降、全校実施の学校行事、校外学習等の学年行事が実現し、3年ぶりに本番を迎えた「合唱コンクール」では、互いの合唱を鑑賞し、「3年生の合唱は迫力があり素晴らしい」と、生徒が互いに認め合い、学ぼうとする姿を目の当たりにする取組となりました。教科学習においては、新たに生徒一枚のホワイトボードの活用をスタートし、現在、さまざまな場面で、GIGA端末とホワイトボードの活用を進めています。調べ学習や発表等においても使うことによって、基礎・基本の学力と応用力を身につけることを目標に取り組んでいます。このような中、実施した後期アンケート結果のうち、

○学習が将来の夢や目標へつながっている

○家庭学習習慣が定着している

の項目について、否定的な回答の生徒及び保護者の割合が、依然、高い結果でした。中学卒業後の進路決定だけでなく、将来社会人として生きる上で必要な力として、「自ら学ぶ力」の大切さに気付かせる授業、サポート学習、キャリア教育の充実に、取り組んでいきます。また、

○他の人を思いやった行動ができる

という項目に、肯定的答をしている生徒と保護者の割合は高いものの、「そうである」の割合は、生徒38%、保護者45%でした。他者を思いやった行動は、日常生活において自然と培われていく部分と、人権学習等において、正しく「知る」ことから行動につながる部分があろうと思います。今年度の人権学習は、「障がいのある人と共に生きる」「外国人と共に生きる」「部落差別と人権」「ユニバーサルデザイン」の各テーマの下、「正しく知る」を目標の一つとして、学習しました。3年目を迎える「人権の木」制作においては、保護者の方々にも有志で参加をいただく等、取組の輪を広げました。このように、互いを思いやった行動について、常に問いかけながら、学びを進めていきたいと思います。

コロナ禍の中、今年度も、保護者の来校の機会は十分と言えない状況でしたが、出来る形で情報を発信し、気軽に相談していただける「開かれた学校」を目指し、取り組んできました。どんな状況下に置かれようと、お子さまの様子、変化を共有し、共に歩む姿勢を、大切にしていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。